

ア. 列車事故

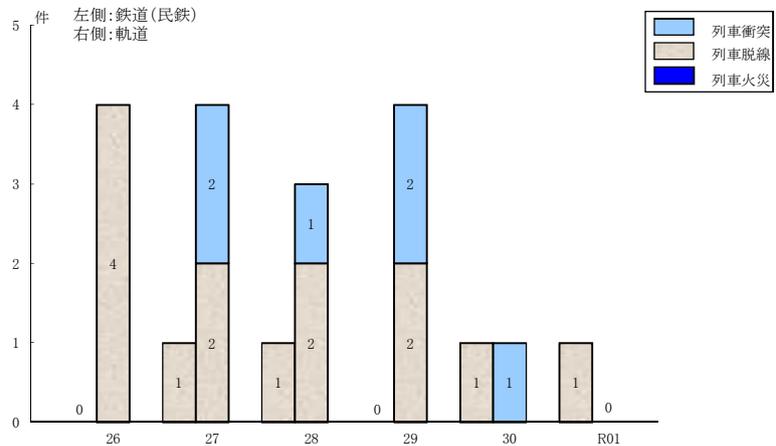
令和元年度の発生件数は、表-2及び図-8のとおり、鉄道1件であり前年度より1件減少した。事故の種類別に見ると、列車脱線事故1件が発生している。

表-2 列車事故原因推移

原因	年度	26	27	28	29	30	R01
部内	取						
	扱		2	2	2	1	
	車		1	1		1	
	施						
部外	踏						1
	切						
	その他						
	軌道	3	1				
災害	鉄道						
	軌道						
計	鉄道	0	1	1	0	1	1
	軌道	4	4	3	4	1	0

(注) 列車事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故(軌道における車両衝突事故、車両脱線事故、車両火災を含む)を総称している。

図-8 列車事故種類別件数の推移



イ. 踏切障害事故

令和元年度の発生件数は9件と前年度(8件)より1件増加している。種類別では、第1種踏切において3件増加、第4種踏切において2件減少している。

原因別は、図-12のとおり、直前横断は前年度と同数の4件、エンスト・その他は前年度(2件)より2件増加した。

図-9 踏切道種類別事故件数の推移

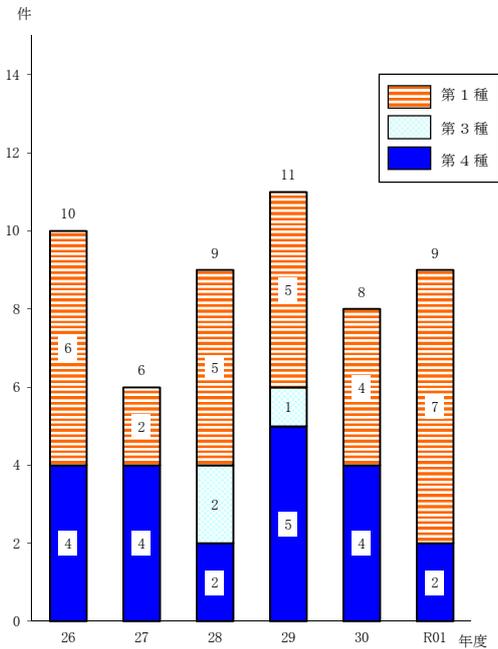
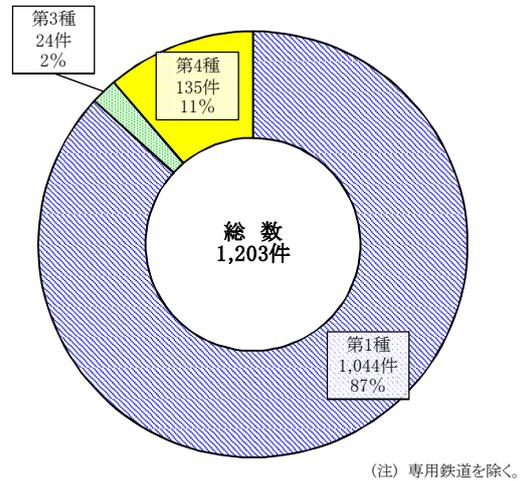


図-10 踏切道数(令和元年度)



(注) 専用鉄道を除く。

表-3 踏切道種類別事故件数、踏切道100ヶ所当たりの事故件数の推移

踏切道種別	踏切道数		事故件数		踏切道100ヶ所当たりの事故件数	
	30年度	R01年度	30年度	R01年度	30年度	R01年度
第1種	1,047	1,044	4	7	0.38	0.67
第3種	24	24	0	0	0.00	0.00
第4種	139	135	4	2	2.88	1.48
合計	1,210	1,203	8	9	0.66	0.75